

図書館基礎特論 2023-4

地域の情報センターとしての図書館

第1回 柏市立図書館 交流型講演会 開催報告「地域の記憶を未来につなぐために、いま出来ること ～地域のアーカイブ機能と図書館～」

■第1部 福島幸宏先生の講演内容

- ・今日の講演で伝えたいこと
- ・図書館法の確認
- ・図書館の拡大を支えた社会状況の変化
- ・メガコンペティションのなかで
- ・デジタルリソースに弱い図書館
- ・社会を平準化する存在として使命を果たす
- ・地域資料を集める
- ・優先順位の再構成
- ・デジタルリソースの利活用
- ・図書館から Library へ

福島幸宏. 図書館の未来像のひとつとしての地域資料活用. 図書館界. 2021, 72(5), 223-227.

- ・はじめに一長い前置き
- ・1. 地域資料のより一層の拡張
 - ・1. 1 地域社会から資料を取り出す
 - ・1. 2 空間のデータ化・行動のデータ化
- ・2. スリムモデル再考
 - ・2. 1 デジタルアーカイブのスリムモデル
 - ・2. 2 その後の議論の展開
 - ・2. 3 利用規約の重要性
- ・3. 図書館機能とデジタルアーカイブ
 - ・3. 1 図書館機能の再定置
 - ・3. 2 ネットワークと役割分担
- ・おわりにー世界からの窓となるために

「カレントアウェアネス」の記事などから

- ・柏市立図書館(千葉県)、交流型講演会「地域の記憶を未来につなぐために、いま出来ること」を開催 (CA-R 40229)
- ・地域情報アーカイブ化事業実行委員会・豊中市立図書館(大阪府)、地域の記憶を映像と活字で記録する北摂アーカイブス「わがまちの歴史を語る」を実施 (CA-R 39911)
- ・浦安市立図書館(千葉県)、「浦安アーカイブス」の写真撮影ボランティアを募集 (CA-R 42697)
- ・宮城県図書館、東日本大震災文庫展 XII「震災伝承:つたえつづけてゆく記憶」を実施 (CA-R 45754)
- ・宮城県図書館 東日本大震災文庫展 XII「震災伝承:つたえつづけてゆく記憶」チラシ
- ・令和3年度東日本大震災アーカイブシンポジウムー震災記録を残す、伝える、活かすー【令和4年1月10日(月・祝)開催】
- ・「体験を同期する」というアーカイブの使い方」登壇者資料